



緑萌ゆ

新宮小・中学校長だより 2020.6.29

共に伸びる

先日、全校朝会で子どもたちに話す機会がありました。そこで話した内容は、実は4月22日に予定されていた全校朝会で話すつもりだったものです。しかし、知っての通り臨時休業になってしまい、今まで話すのが延びてしまいました。次のような話をしました。

私は新宮小・中学校が、「共に伸びる」学校になってほしいと思っています。「共に」は「いっしょに」という意味ですね。「伸びる」は「成長する」、「頑張る」というような意味合いになります。「いっしょに」ということは、一人ではありませんね。「誰と誰」のことでしょう。「私と？」。そう、「お友達」ですね。クラスのお友達だけでなく、上級生、下級生のお友達もそうですね。児童同士だけでしょうか。そうです。「先生」もですね。例えば、皆さんが授業中発表を頑張れば、先生もみんなが頑張っているからもっとわかりやすい授業にしようと頑張れますね。先生と生徒が共に伸びるということです。おうちの人や、地域の人もそうですね。また、先生同士も共に伸びようと頑張っています。

小学生の皆さんは、先日「放課後わくわく教室」について伊藤先生がお話ししてくださったことを覚えていますか。一人一人のやる気が全体のやる気につながってくるというお話をしてくださいましたね。お互いが「共に伸びる」学校になれば、みんなやる気にあふれてグングン成長していき、どんどん素晴らしい学校になっていきます。みんなで素晴らしい新宮小・中学校にしていきたいと思います。

私が目指す学校像の一つが「共に伸びる」学校です。だれしも、常にやる気MAXというわけにはいきません。そんな時、そばで勇気づけ、励まし、力になってくれる人の存在が大切です。また頑張ろうと思えてきます。同じように、自分が元気な時は、人を勇気づけられる人になりたいものです。お互い励まし合い、高め合いながら成長していく関係を築く、そういう集団作り、学校づくりが大切だと思っています。そういう集団であれば、自然といじめもなく、学力もつくはずですよ。

「受験は団体戦」とは、中学校でよく言われる言葉です。数年前のあるコマーシャルの言葉には、「受験は孤独な戦いなんかじゃない。苦しいとき支えあって、うれしいとき分かちあって、一緒に闘う冬がはじまる。受験だって、団体戦だ。」とありました。「人をどんどん助けよう。人とどんどんつながろう。いずれそれは、あなた自身に返ってきて大きな力になるのだから。」

教職員と共に、子どもたちと共に、保護者の皆さんと共に、地域の方と共に、さらに「共に伸びる」新宮小・中学校にしていきたいと思います。